

海洋ごみ対策プロジェクト「拾い箱」を設置！

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦、以下：セブン-イレブン）は2021年3月および5月に、海洋ごみ対策の一環として、「拾い箱」を期間限定で設置しました。

「拾い箱」は地域の清掃活動を応援するツールで、コンビニエンスストアへの設置は、初の取り組みとなります。今回は、長崎県大村市、山形県山形市のセブン-イレブン2店舗に「拾い箱」を設置し、地域のみなさまと共に清掃活動に取り組みました。

海洋ごみの約8割は陸から川を伝い海へ流出するといわれており、街中や川岸などに落ちているごみの清掃は大切な活動です。今後もできることから一つずつ実施しながら、豊かで美しい海を未来へつないでいきたいと思えます。

※「拾い箱」設置概要

事務局：(株)テレビ長崎／協力：長崎県大村市
 ■実施日時：21年3月15日～3月28日
 ■実施店舗：大村松並1丁目店

近隣の保育園や学童の皆さんもごみ拾いをしてくださいました。



事務局：(株)テレビユー山形
 ■実施日時：21年5月17日～5月28日
 ■実施店舗：山形十日町4丁目店

地域のみなさまがボランティア活動として、地域清掃をしてくださいました。



「拾い箱」とは

（公財）日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の海洋ごみ削減対策アクションツールのひとつ。地域の清掃活動で拾ったごみをいつでも、誰でも、入れられる専用箱です。地域の清掃活動を応援し、みんなで街をきれいにするアクションを生み、仕組みを作ろうとする取り組みです。

関連情報

- ・海と日本PROJECTinながさき <https://nagasaki.uminohi.jp/>
- ・海と日本PROJECTin山形 <https://yamagata.uminohi.jp/>